

中央卸売市場会計 8月補正予算（案）

豊洲市場への移転に向けた準備を早期に整えるとともに、
築地の再開発に向けた検討を進めていくため、補正予算を編成

1	専門家会議の提言に基づく追加対策工事	30億円
2	開場に向けた移転準備に必要な経費	25億円
3	豊洲市場の使い勝手の向上に係る経費	1,000万円
4	築地の再開発に向けた検討	2,000万円
計		55億円

※ このほか、債務負担行為18億円を補正予算に計上

1 専門家会議の提言に基づく追加対策工事

30億円
(債務負担行為 11億円)

○ 地下ピット追加対策工事

13億円
(債務負担行為 6億円)

床面へのコンクリート打設や換気設備整備により、**ガス濃度上昇を防止**

○ 地下水管理システムの機能強化対策

16億円
(債務負担行為 4億円)

地下水水位の早期低下、**水質モニタリング**などのため、機能強化を実施

○ 補助315号線連絡通路部の観測用人孔補修

5,000万円

水銀等の**ガス濃度上昇を防止**するため、観測用人孔の補修を実施

2 開場に向けた移転準備に必要な経費

25億円

- 引越作業の再構築 3億円
- 造作工事・習熟訓練の本格化への対応 16億円
- 車両入退場管理設備の稼働準備 1億円
- 開場準備に伴う施設稼働の本格化 4億円
- 豊洲市場の広報PR事業 1億円
- 豊洲市場認可申請の準備 2,000万円

3 豊洲市場の使い勝手の向上に係る経費

1,000万円
(債務負担行為 7億円)

- 施設の使い勝手の向上に向けた工事
(カーブミラー設置等) **1,000万円**



注意喚起の標識設置

カーブミラーの大型化

- 5・6・7街区駐車場棟ほかトイレ整備工事 (債務負担行為：7億円)

4 築地の再開発に向けた検討

2,000万円

補正予算成立後、速やかに「築地再開発検討会議（仮称）」を設置し、築地のロケーションを最大限に活かし、**まちづくりの観点**から検討を進めていく

《 検討体制 》

- 都市計画、経済・経営などの分野の学識経験者と行政関係者で構成
（事務局）都市整備局

《 検討内容 》

- 現状及び課題の整理（地域特性、ポテンシャルなど）
- 開発コンセプトなどの検討
- 事業の進め方の概略検討
- ※ プロポーザル（企画提案方式）を活用

第二回臨時会の開催

**補正予算（案）を速やかに審議していただくために、
第二回臨時会を招集**

告 示

8月21日（月）

招 集

8月28日（月）

豊洲市場に関する環境影響評価手続

中央卸売市場から環境局に対し、環境影響評価書の変更届を提出（平成29年8月10日）

- 「建物下に盛土する計画」から「専門家会議を踏まえた盛土に代わる対策」への変更
 - ・ 主要建物下で盛土を地下ピットに変更
 - ・ 盛土に代わる対策として、地下ピット内に換気設備を設置し、コンクリートを打設
 - ・ 地下水管理システムの機能強化
- 変更に伴う環境への影響（①水質汚濁、②土壌汚染、③廃棄物）について、事業者として予測・評価し、いずれも影響は小さい旨を記載

環境局において変更届の内容を審査し、「環境に著しい影響を及ぼすおそれ」があるかを判断

環境影響評価審議会